

田中会長辞任に関する弁護団長談話

本日、統一教会の田中富広会長が記者会見し、会長辞任を表明し、併せて一部の関係者に心痛を与えたとしてお詫びしました。

田中氏が、誰に対し何をお詫びし謝罪したのかは必ずしも明確ではありませんが、これが、「被害も不法行為も存在しない。それは弁護団の虚偽主張、捏造である。」とするこれまでの主張を撤回するものであるならば、統一教会は、弁護士やジャーナリストに対する多くのスラップ訴訟を直ちに取り下げ、宗教二世を含む全被害者に真摯に向き合い、その被害を賠償すべきであると考えます。

この間、裁判所における集団調停で解決が進められてきました。

統一教会は、そうした公正な司法手続きにおいて、早期の解決と全被害者の救済に取り組むことこそが、社会的な信頼回復につながる唯一の道であることを理解すべきです。

統一教会と田中氏の後任者が、東京地裁における調停、訴訟手続きに誠実に対応することを期待します。

2025（令和7）年12月9日

全国統一教会（世界平和統一家庭連合）被害対策弁護団

弁護団長 弁護士 村越 進